

となりの会社はどうしてる？

職場の居心地 WEB 調査

職場に潜むコミュニケーションの課題編

PLUS Furniture Company

もくじ

テーマ：顔と名前の一致 2ページ

同じオフィスで働くメンバーの顔と名前がどれくらいわかりますか？

今年入社した新入社員とのコミュニケーションは充分に行われていると思いますか？

テーマ：職場メンバーとの信頼関係 5ページ

あなたは、職場メンバーとのコミュニケーションが充分に取れていると思いますか？

あなたの職場には、困っているときに助け合える風土やチームワークがあると感じますか？

「自分は職場のメンバーから必要とされている」「信頼されている」と実感できることはありますか？

テーマ：雑談しやすい相手 9ページ

働きやすい職場づくりのために、オフィスでの『雑談』は必要だと思いますか？

あなたが自分の職場で、「気軽に雑談できる」「雑談しやすい」と感じる相手は誰ですか？

あなたが自分の職場で、「気軽には雑談できない」「雑談しにくい」と感じる相手は誰ですか？

Theme | 顔と名前の一致

同じオフィスに
顔と名前がわからない相手が
半分以上いる人

47%

職場の居心地 WEB 調査



皆様はオフィスで一緒に働くメンバーの顔と名前が一致しますか？

ただでさえ全員の顔と名前を覚えるのは大変なのに、リモートワークの推進や、感染症流行によりマスクをつけるケースが増えている影響で、なかなか全員の顔と名前を覚えるのは難しいですね。

「顔と名前の一致」をテーマに、現状について訊いてみました。

[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

回収日：2022年06月14日

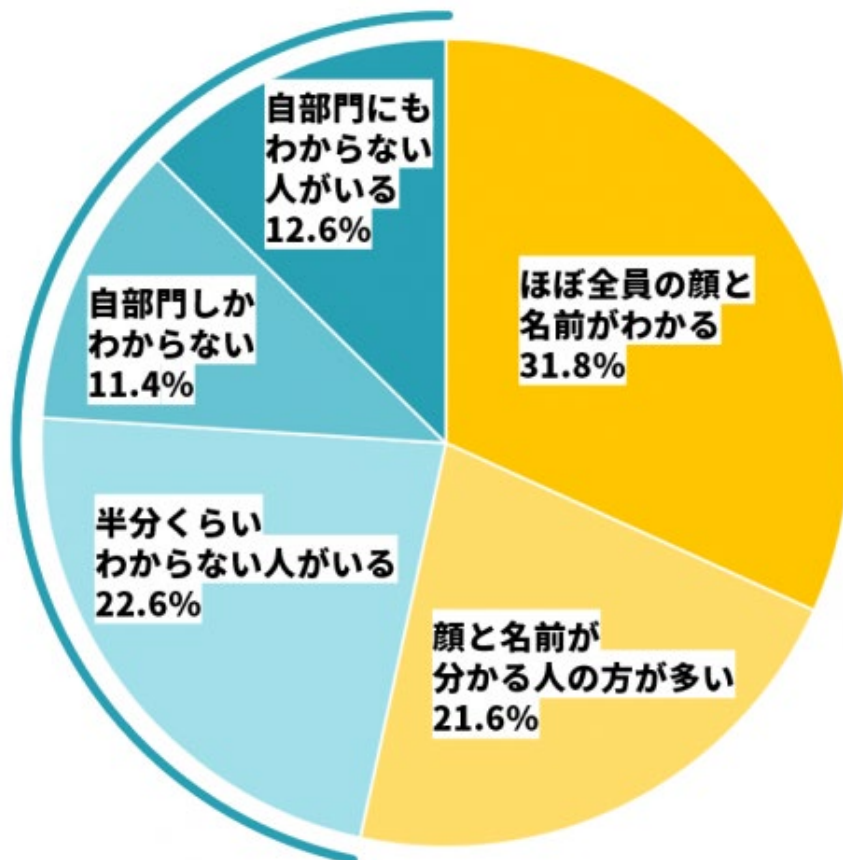
対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークを含む業務を行う会社員、公務員

サンプル数：500人



同じオフィスで働くメンバーの顔と名前がどれくらいわかりますか？

(n=500)



半分以上わからない人がある

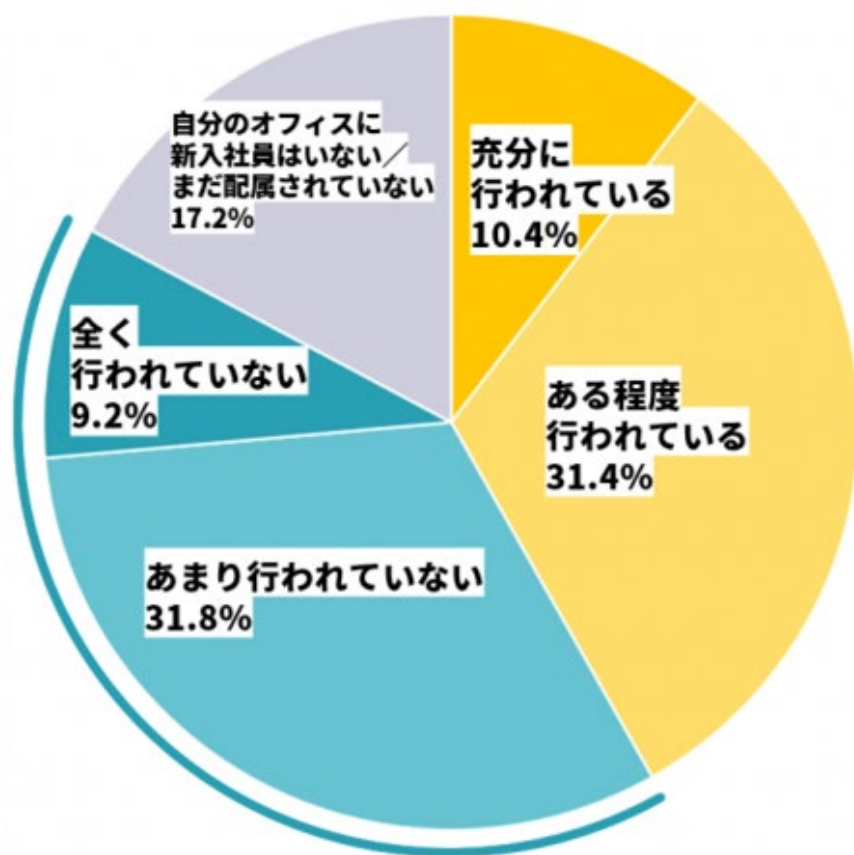
46.6 %

「ほぼ全員の顔と名前がわかる」「顔と名前がわかる人の方が多い」の合計が53.4%、「半分くらいわからない人がある」「自部門しかわからない」「自部門にもわからない人がある」の合計が46.6%となりました。

「同じオフィスで働いているけど、顔と名前が分かる人は半分もない……」と思いながら働いている人が半数近くいるということがわかりました。勤続年数で区切っても大きな差が見られず、世代を問わず抱えている問題のようです。

あなたの働くオフィスでは、今年（2022年）入社した新入社員（新卒・中途入社含む）とのコミュニケーションは充分に行われていると思いますか？

(n=500)



コミュニケーションが充分に行われていない

41 %

「充分に行われている」「ある程度行われている」の合計が41.8%、「あまり行われていない」「全く行われていない」の合計が41%。残り17.2%は、同じオフィス内に新入社員がいないという回答でした。

「充分に行われていない」と考える人の理由を聞いたところ、最も多かったのは『新型コロナウイルス対策』と『リモートワークが続いているため』でしたが、『忙しすぎてそれどころではない』『会社側が必要を感じていない』などのコメントも複数ありました。勤続年数で区切っても大きな差は見られず、新人側も先輩側も感じている課題のようです。

オフィスで十分な
コミュニケーションを取れていないと

63%の人は

「職場で
必要とされている」
という実感を持ってない

職場の居心地 WEB 調査



リモートワークやウェブ会議が浸透し、同僚と直接顔を合わせなくても仕事が進められるようになりました。その一方で、打合せや会議ではない、日々の「何気ないコミュニケーション」の機会は減ったように感じます。

顔を合わせたリアルでのコミュニケーションの量が、働く人の気持ちに与える影響を調べるため、「職場メンバーとの信頼関係」をテーマにアンケートを実施しました。

[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

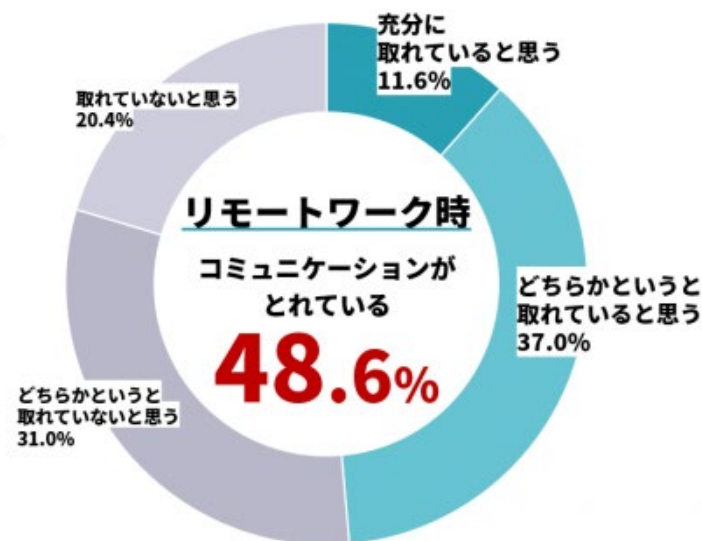
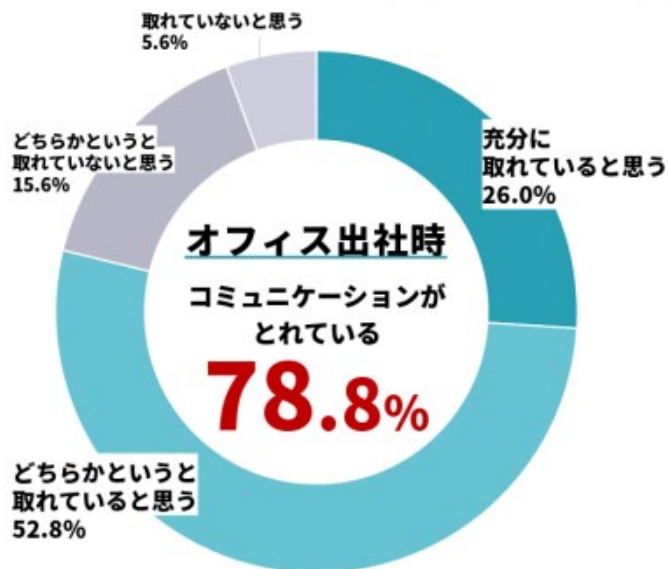
回収日：2022年08月26日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークを含む業務を行う会社員、公務員

サンプル数：500人

あなたは、職場メンバーとのコミュニケーションが充分に取れていると思いますか？
「オフィス出社時」と「リモートワーク時」、それぞれについてご回答ください。

(n=500)

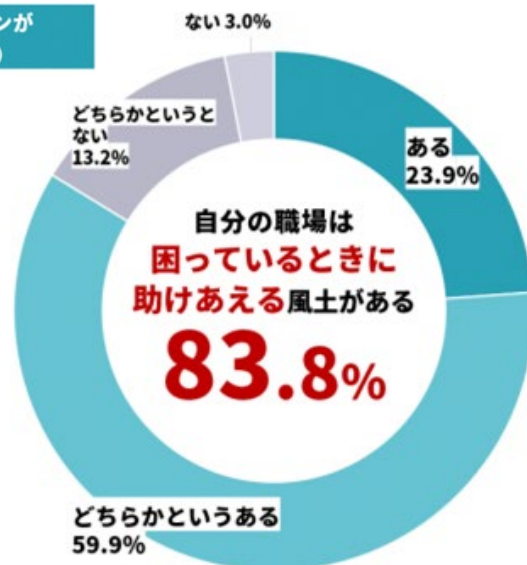


コミュニケーションが「充分に取れていると思う」「どちらかというと取れていると思う」の合計は、オフィス出社時では78.8%。対してリモートワーク時は48.6%に留まりました。

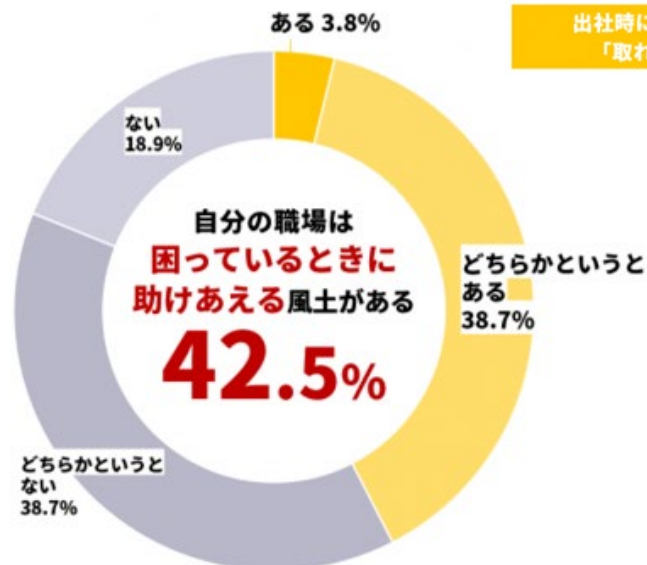
結果から、リモートワーク環境では「コミュニケーションが取れていない」と感じている人が半数以上いることがわかりました。それに対して、オフィスに出社してリアルで顔を合わせたときには「コミュニケーションが取れている」と回答した人が約8割。これからのオフィスには、これまで以上に「コミュニケーションの場」としての役割が求められてきそうですね。

あなたの職場には、
困っているときに助け合える風土やチームワークがあると感じますか？

出社時にコミュニケーションが
「取れている」人 (n=394)



出社時にコミュニケーションが
「取れていない」人 (n=106)

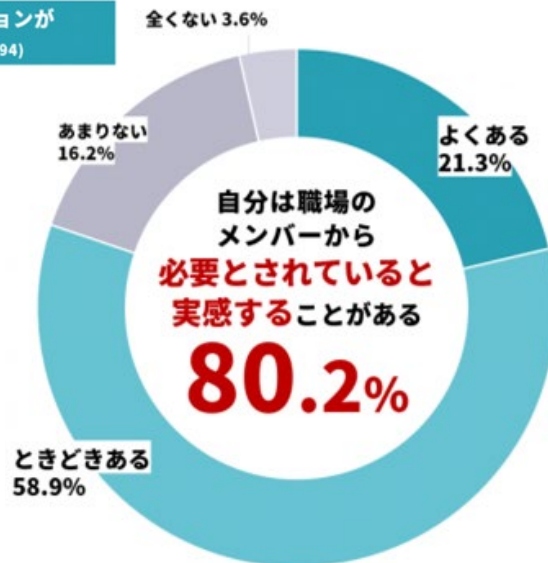


オフィス出社時にコミュニケーションが「取れている」人のうち83.8%が、「自分の職場には困っているときに助け合える風土やチームワークがある」と回答。オフィス出社時にコミュニケーションが「取れていない」人では、42.5%に留まりました。

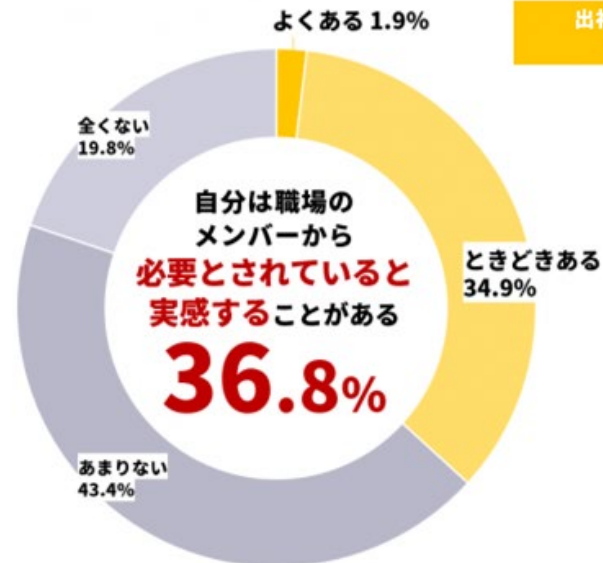
コミュニケーションが取れている人と取れていない人との間で、結果に大きな差が見られました。オフィス出社時のリアルなコミュニケーションの有無が、「自分が困ったとき、職場の仲間が助けてくれる」という信頼感にも影響を与えるようです。

日々の中で、「自分は職場のメンバーから必要とされている」「信頼されている」と実感できることはありますか？

出社時にコミュニケーションが
「取れている」人 (n=394)



出社時にコミュニケーションが
「取れていない」人 (n=106)



オフィス出社時にコミュニケーションが「取れている」人のうち80.2%が、「自分は職場のメンバーから必要とされている、信頼されていると実感できることがある」と回答。オフィス出社時にコミュニケーションが「取れていない」人では、36.8%に留まりました。

つまり、オフィスでのコミュニケーション不足を感じる人のうち約63%が、職場のメンバーから必要とされているという実感を持っていない.....という結果が見えてきました。

Theme | 雑談しやすい相手

**上司が雑談
しやすいのは部下
部下が雑談
しにくいのは
上司!?**



職場の居心地 WEB 調査

皆さんの職場に、気軽に『雑談』ができる仲間はいますか？

リモートワークの拡大やオフィスのフリーアドレス化が進み、「毎日同じ仲間と顔を合わせる」機会が減った、と感じている方も多いのではないのでしょうか。

普段やり取りの少ない相手といきなり雑談するのは難しいもの。役職や世代が異なるメンバー同士であればなおさらです。

「雑談しやすい相手」をテーマに、アンケートを実施しました。

[アンケート実施情報]

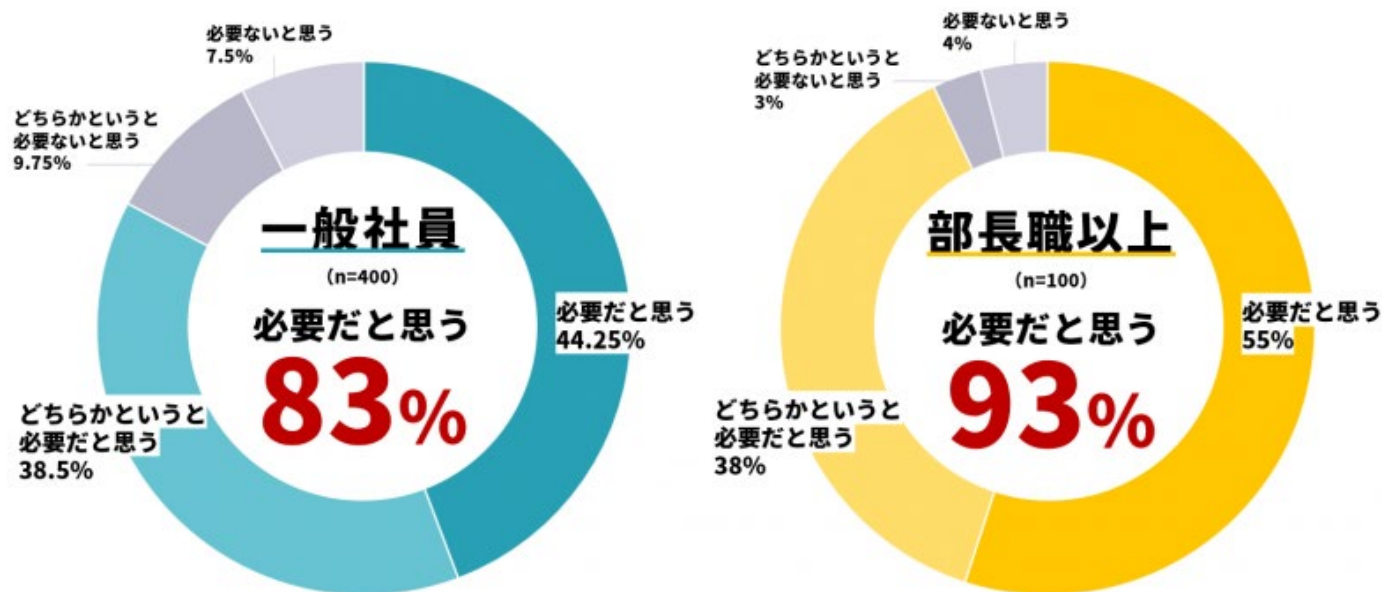
方法：インターネット調査

回収日：2022年08月26日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークを含む業務を行う会社員、公務員

サンプル数：500人（一般社員400名／部長職以上100名）

働きやすい職場づくりのために、オフィスでの『雑談』は必要だと思いますか？

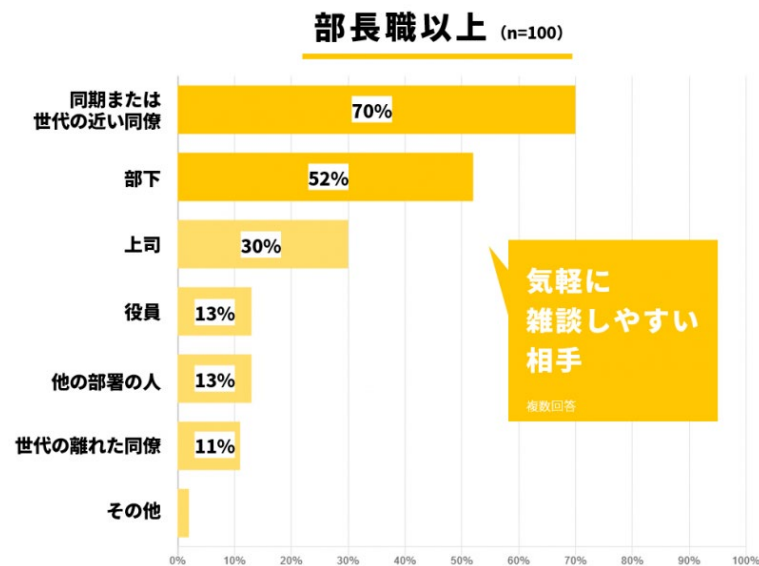
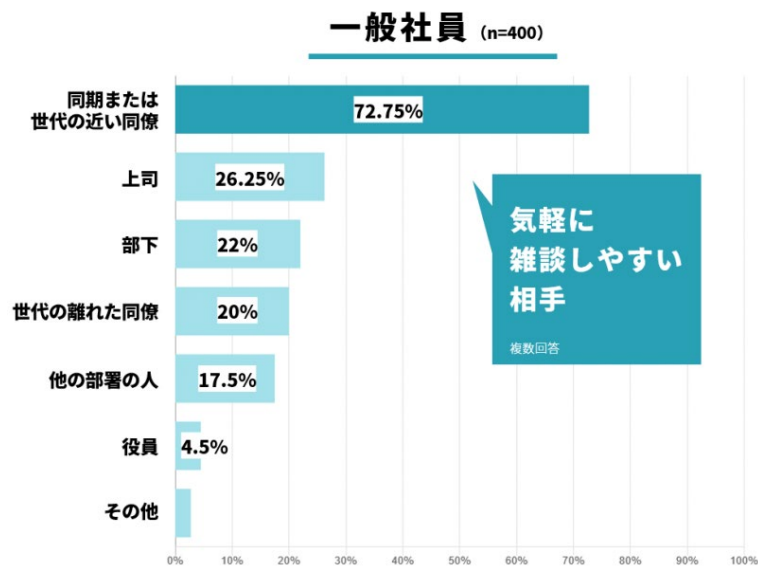


役職による意識の違いを探るため、雑談の必要性について「一般社員」と「部長職以上」に分けてアンケートを行いました。結果はグラフの通り。「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」の合計が、一般社員で83%、部長職以上で93%と、多くの回答者がオフィスでの『雑談』の必要性を認めていることがわかります。部長職以上は一般社員と比較して「必要だと思う」が10ポイント以上高く、人材管理やマネジメントを行う役職柄、周囲とのコミュニケーションの重要性を高く捉えていると予想できます。



あなたが自分の職場で、「気軽に雑談できる」「雑談しやすい」と感じる相手は誰ですか？

(一般社員 n=400 / 部長職以上 n=100)

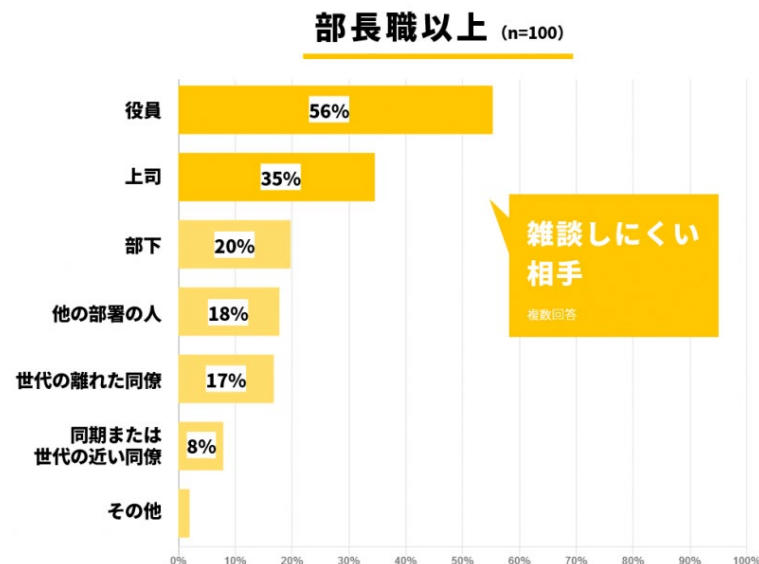
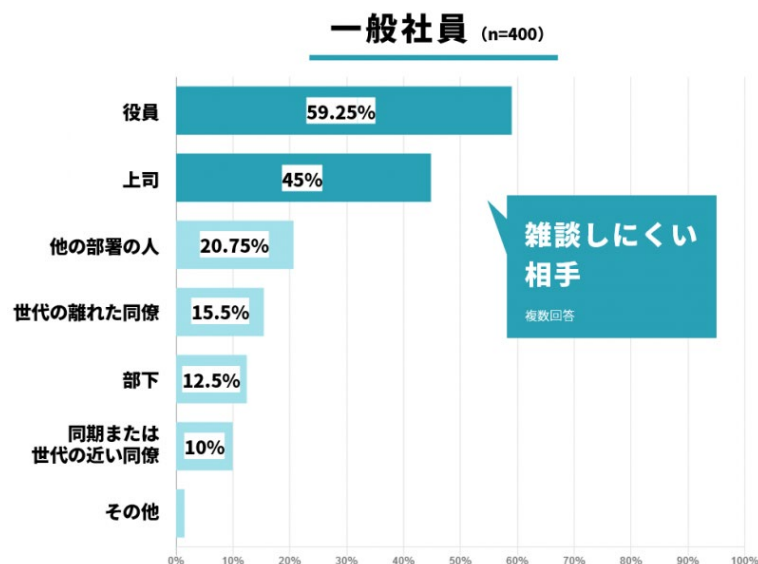


雑談しやすい相手について、「一般社員」と「部長職以上」それぞれに質問しました。結果は、「同期または世代の近い同僚」については一般社員・部長職以上ともに7割以上が雑談しやすいと回答。歳が近ければ共通の話題も見出しやすく会話が弾む……というのはなんとなくイメージが湧きますよね。また、部長職以上の約半数は「部下」を雑談しやすい相手と捉えているようです。

あなたが自分の職場で、

「気軽には雑談できない」「雑談しにくい」と感じる相手は誰ですか？

(一般社員 n=400 / 部長職以上 n=100)



雑談しにくい相手について、「一般社員」と「部長職以上」それぞれに質問しました。

約6割の人が「役員」を「雑談しにくい相手」と捉えているようです。理由を訊いたところ「失礼があったら困る」「そもそもきっかけがない」などの回答が多く得られました。また、一般社員では半数近くが「上司」を雑談しにくい相手と捉えており、上司が雑談しやすいのは部下、部下が雑談しにくいのは上司.....という図式が浮かび上がってきました。